

A study of music therapy for chronic schizophrenia patients

浅野, 雅子
九州大学大学院芸術工学府

<https://doi.org/10.15017/19749>

出版情報 : 九州大学, 2010, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

目次

第1章	本研究の背景	1
1.1	精神障害者と音楽を用いた作業療法	1
1.2	音楽療法の位置づけ	2
1.3	現在の音楽療法研究	4
1.4	統合失調症の位置づけと音楽を用いることの意義	7
1.5	本論文の目的	8
1.6	研究の意義	8
1.7	用語の定義	9
1.8	倫理的配慮	9
1.9	本論文の構成	10
第2章	慢性期統合失調症患者に対する内容の違いによる音楽療法	12
2.1	はじめに	12
2.2	目的と仮説	12
2.2.1	目的	12
2.2.2	仮説	13
2.3	方法	13
2.3.1	研究デザインの種類	13
2.3.2	対象	13
2.3.3	音楽療法の実践方法	14
2.3.4	評価項目	16
2.3.5	データ分析と解析方法	19
2.4	結果	20
2.4.1	歌唱活動	20
2.4.2	合奏活動	20
2.4.3	歌唱活動と合奏活動の比較	20
2.5	考察	23
2.5.1	歌唱活動の治療的効果	23
2.5.2	合奏活動の治療的効果	25
2.6	まとめ	26
第3章	慢性期統合失調症患者に対する無作為抽出による音楽療法	27
3.1	はじめに	27
3.2	目的と仮説	27
3.2.1	目的	27
3.2.2	仮説	28
3.3	方法	28
3.3.1	研究デザインの種類	28
3.3.2	対象	28
3.3.3	音楽療法の実践方法	31

3.3.4	評価項目	34
3.3.5	データ分析と解析方法	36
3.4	結果	36
3.5	考察	45
3.5.1	精神機能と社会機能への効果	45
3.5.2	認知機能への効果	47
3.6	まとめ	48

第4章 個人的音楽背景の違いによる音楽療法の効果への影響 49

4.1	はじめに	49
4.2	目的と仮説	49
4.2.1	目的	49
4.2.2	仮説	49
4.3	方法	50
4.3.1	対象	50
4.3.2	実施方法	50
4.3.3	個人的音楽背景調査項目	50
4.3.4	データ分析と解析方法	55
4.4	結果	55
4.5	考察	60
4.6	まとめ	61

第5章 音楽聴取が認知機能へ及ぼす影響 63

5.1	はじめに	63
5.2	目的と仮説	63
5.2.1	目的	63
5.2.2	仮説	64
5.3	方法	64
5.3.1	対象	64
5.3.2	実施方法	64
5.3.3	施行順および解析方法	64
5.3.4	刺激音楽	66
5.3.5	実施検査	66
5.3.6	データ分析と解析方法	70
5.4	結果	70
5.5	考察	74
5.6	まとめ	75

第6章 結論 77

文献 79

謝辞 85